

韓国環境部プレスリリース 2020年2月25日付

京畿道と江原道の野生いのししから ASF ウイルス検出（野生いのしし 258-263 例目）

<http://www.me.go.kr/home/web/board/read.do?pagerOffset=0&maxPageItems=10&maxIndexPages=10&searchKey=&searchValue=&menuId=286&orgCd=&boardId=1335235&boardMasterId=1&boardCategoryId=&decorator=>

□環境部所属国立環境科学院(院長チャン・ユンソク)は2月24日江原道（カンウォンド）華川郡（ファチョングン）華川邑（ファチョンウプ）豊山里（プンサンリ）、京畿道（キョンギド）漣川郡（ヨンチョングン）百鶴面（ペッカシムン）で発見された野生いのしし死体6個体からASFウイルスが検出されたと2月25日明らかにした。

□国立環境科学院は2月25日死体6個体からASFウイルスを検出したことを関係機関に通知した。これで漣川郡（ヨンチョングン）80件、華川郡（ファチョングン）95件、鉄原郡（チョルウォングン）22件、坡州市（パジュシ）66件、全体263件の野生いのししASFが確診なった。

○野生いのししASF標準行動指針により試料採取後現場消毒と共に死体を処理した。

□国立環境科学院は「今回陽性になった死体は全て広域フェンスの中で発見され、最近感染個体が発見された地点と近接しており、他にも感染個体が存在するのかわかるために徹底的に捜索している」と明らかにした。

以上